

2012年12月期(第34期)
決算説明資料

2013年2月12日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2012年12月期業績概要(1)

<経済の動向>

① 我が国の経済

- ・東日本大震災の復興需要等による緩やかな回復傾向で始まった
- ・世界景気の減速、長期化する円高等を背景に、企業の生産活動や輸出が減少
- ・引き続き厳しい状況で推移

② 世界経済

- ・(中国)景気拡大のテンポがやや鈍化
- ・(米国)弱めの回復テンポが続く
- ・(欧州)景気が弱含む
- ・(全体)弱い回復基調で推移

2012年12月期業績概要(2)

<ODAWARAグループの活動>

- ① 国内外のモーター製造業界の設備投資動向に沿った製品を提供
- ② 積極的な営業活動を展開
- ③ 更なる技術開発とコストダウンに努めた
- ④ お客さまに満足いただける、生産効率向上に寄与する製品を開発・製品化
 - ・モーターのコストダウンを可能にした電動パワーステアリング用全自動ラインシステム
 - ・生産性を向上させた家電・自動車用ブラシレスモーター高速巻線機
- ⑤ 連結業績の概要
 - ・受注高3,929百万円(前期比21.1%減)、受注残高2,795百万円(前期比31.3%減)
 - ・生産高5,057百万円(前期比4.6%減)
 - ・個別売上高が過去最高を記録、連結売上高5,206百万円(前期比2.7%増)
 - ・開発要素の高い大口案件が原価率を押し上げた影響で、営業利益476百万円(前期比42.7%減)、経常利益517百万円(前期比41.5%減)
 - ・厚生年金基金を任意脱退することに伴う脱退損失引当金繰入額131百万円を計上し、当期純利益224百万円(前期比46.5%減)

経営指標等の推移(連結)

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
売上高 (百万円)	4,444	3,035	4,148	5,068	5,206
経常利益 (百万円)	761	140	561	885	517
当期純利益 (百万円)	339	82	308	419	224
純資産額 (百万円)	7,150	7,070	7,279	7,579	7,706
総資産額 (百万円)	8,857	8,355	9,635	9,957	9,226
1株当たり純資産 (円)	1,213	1,200	1,243	1,294	1,316
1株当たり当期純利益 (円)	57.57	13.99	52.60	71.70	38.33
売上高経常利益率 (%)	17.1	4.6	13.5	17.4	9.9

業績推移(連結)

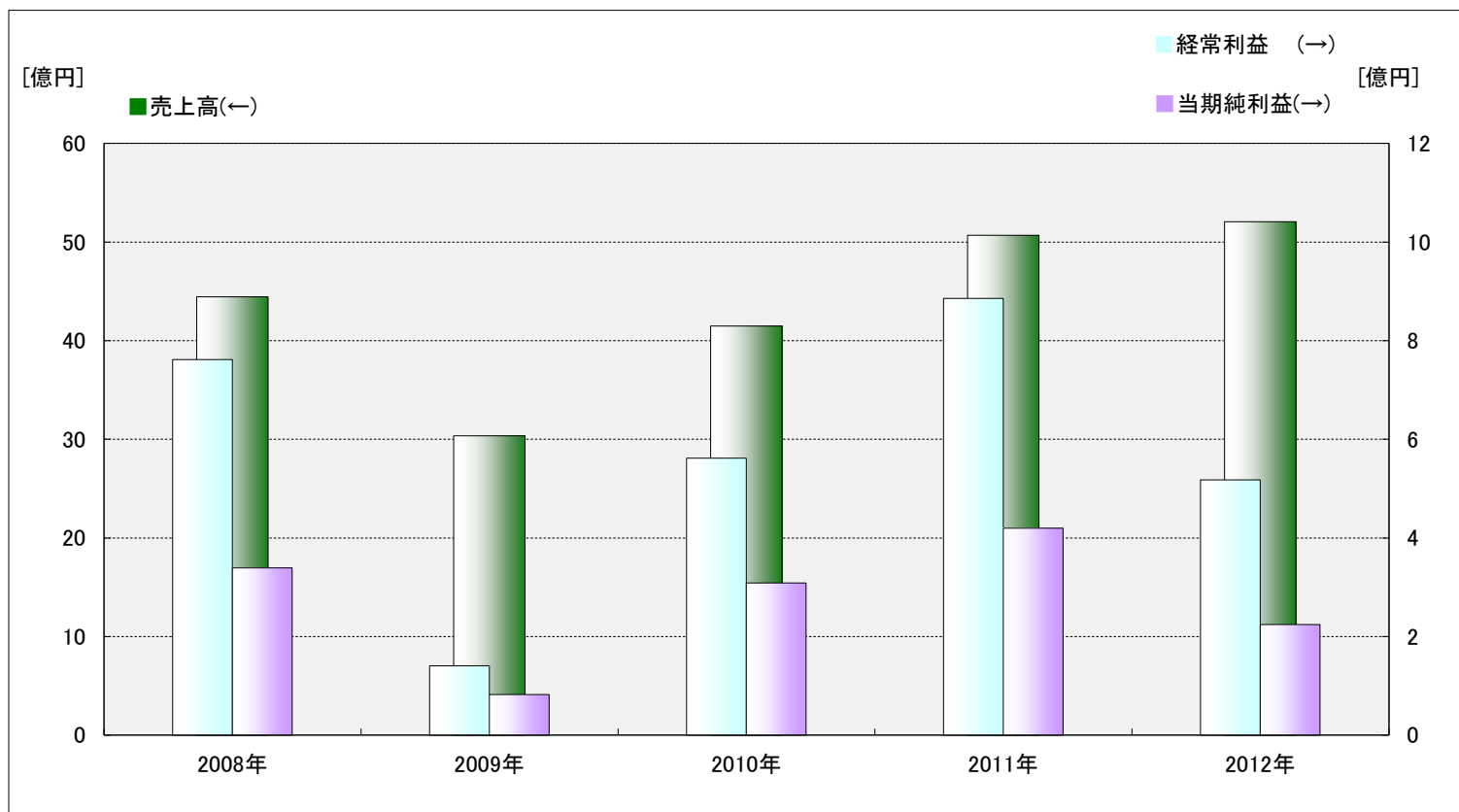
2008年 : 年後半までの受注獲得が順調、原価率が改善

2009年 : 年前半の受注低調が業績へ影響

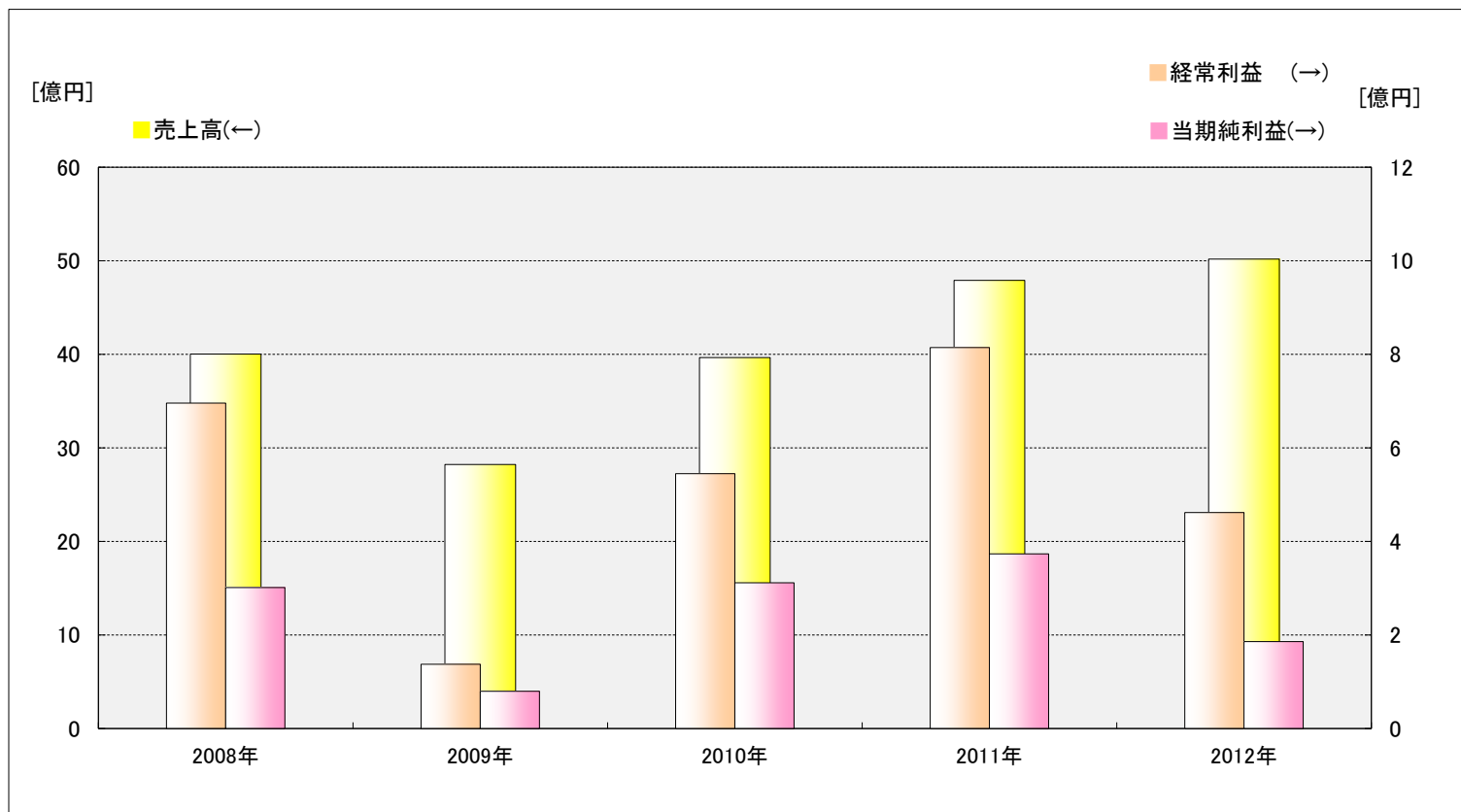
2010年 : 過去最高の受注高、受注環境・生産活動とも順調

2011年 : 売上高は好調に推移、原価低減も図れた

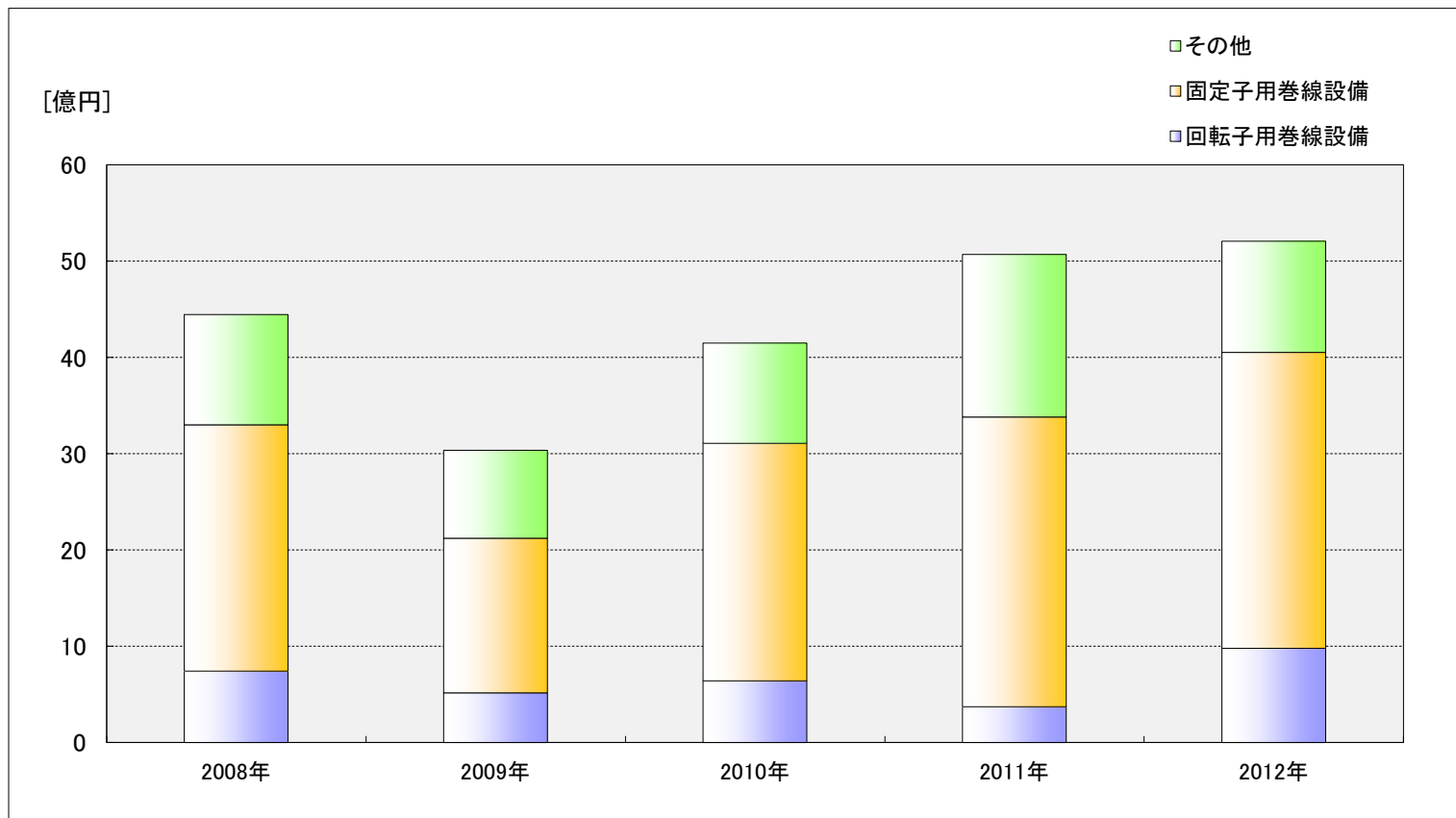
2012年 : 個別売上高が過去最高を記録、開発要素の高い大口案件が原価率を押し上げ、厚生年金基金脱退損失引当金を計上した



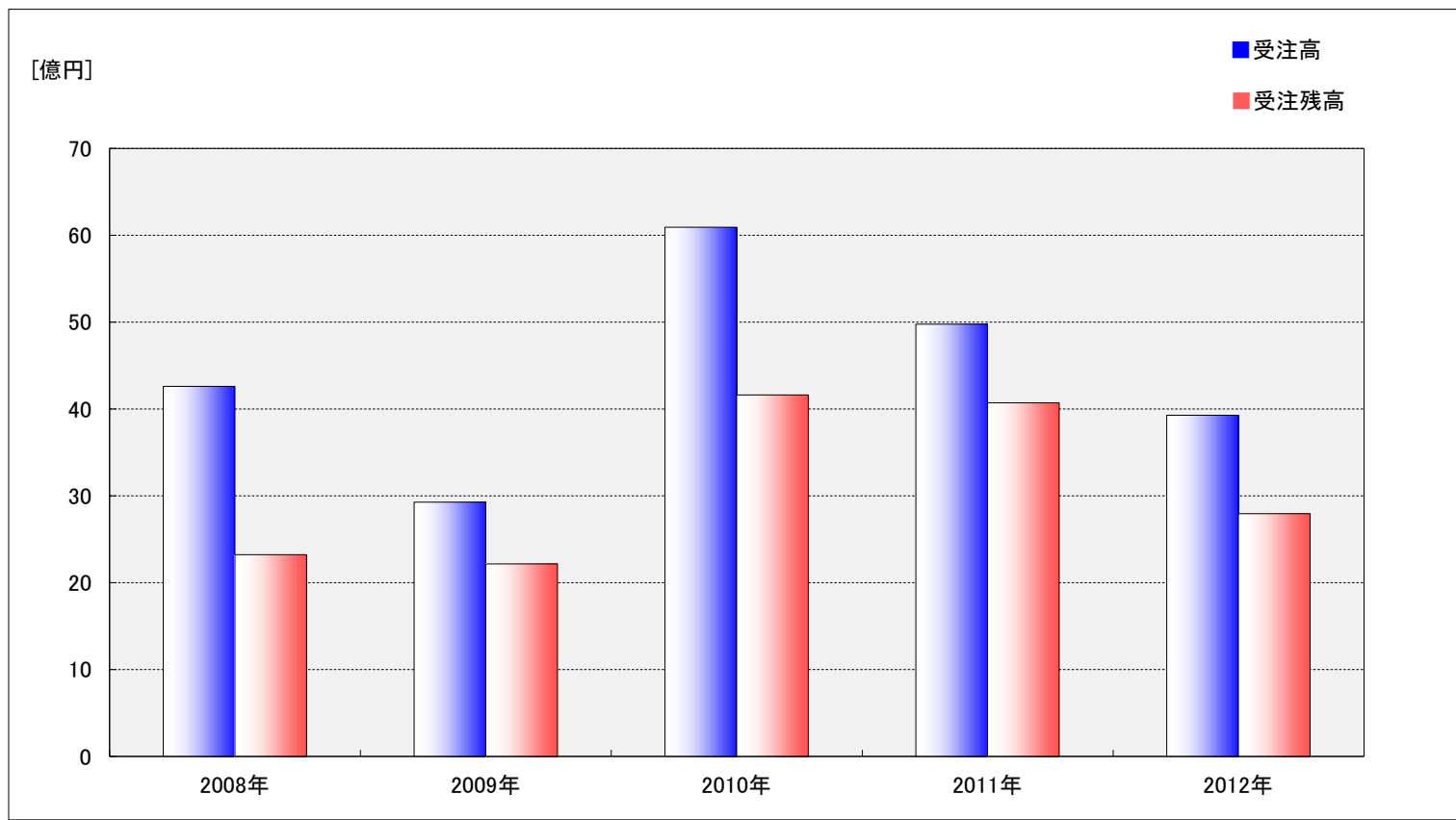
業績推移(単独)



製品別売上高推移(連結)

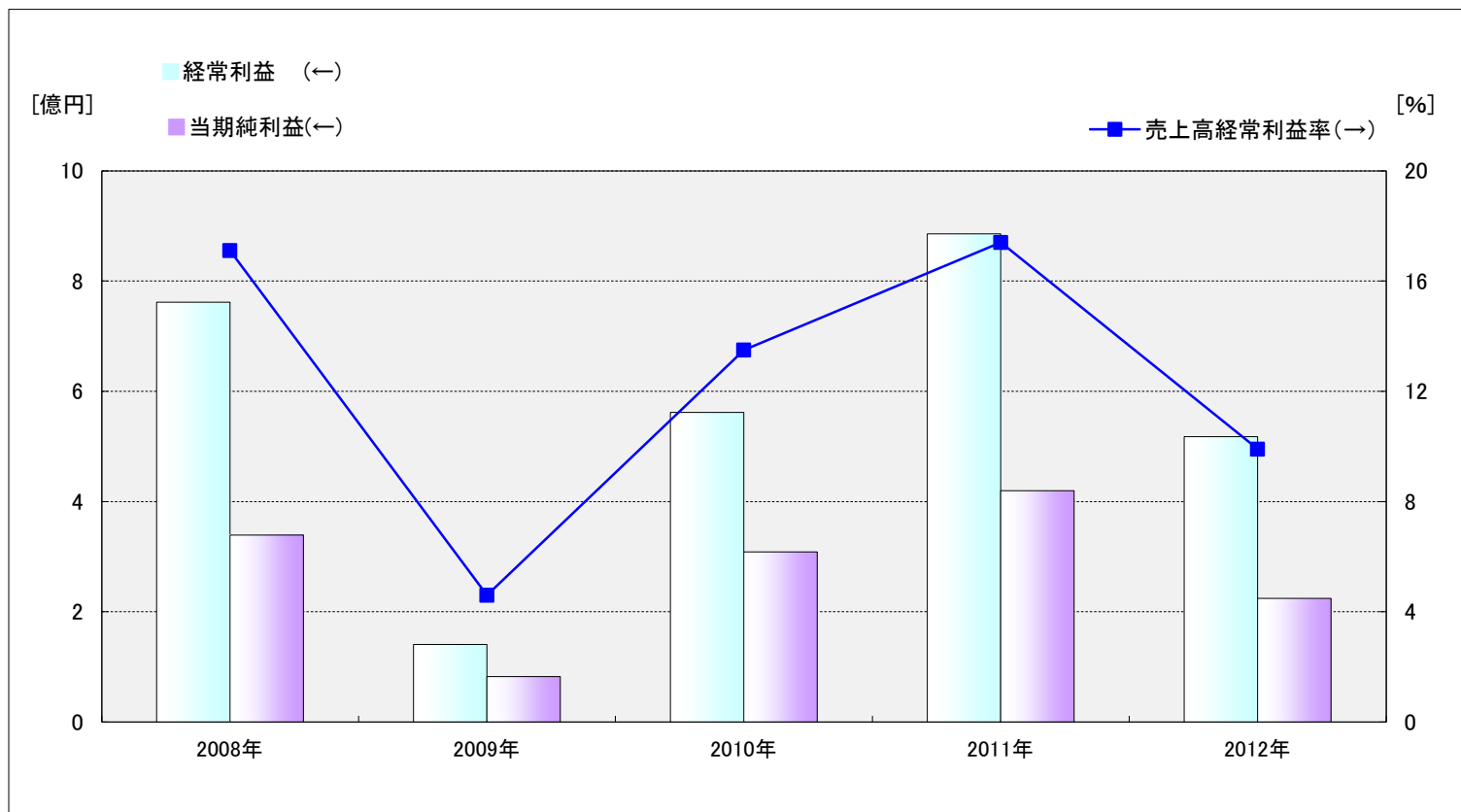


受注動向(連結)

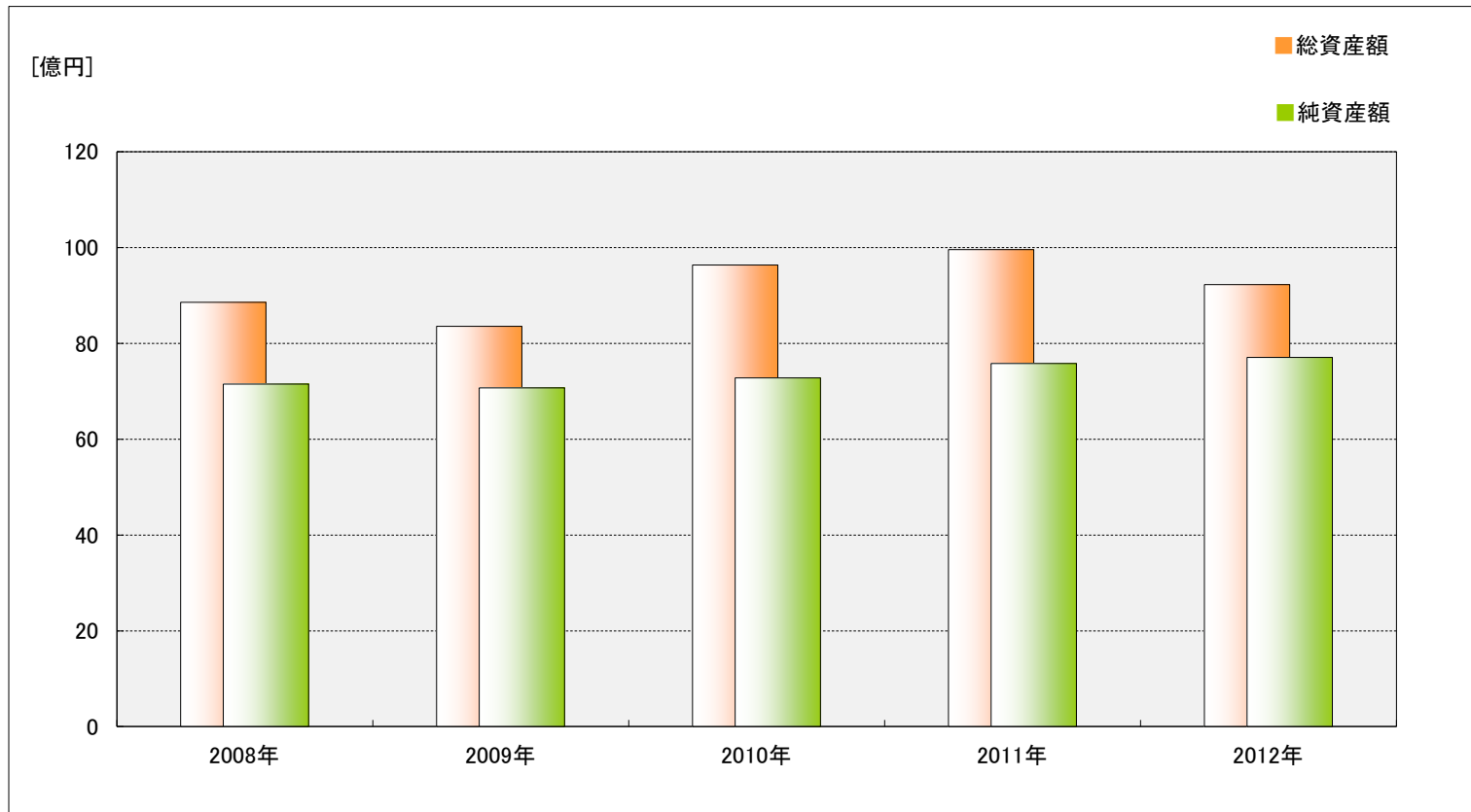


經常利益・当期純利益

・売上高經常利益率(連結)

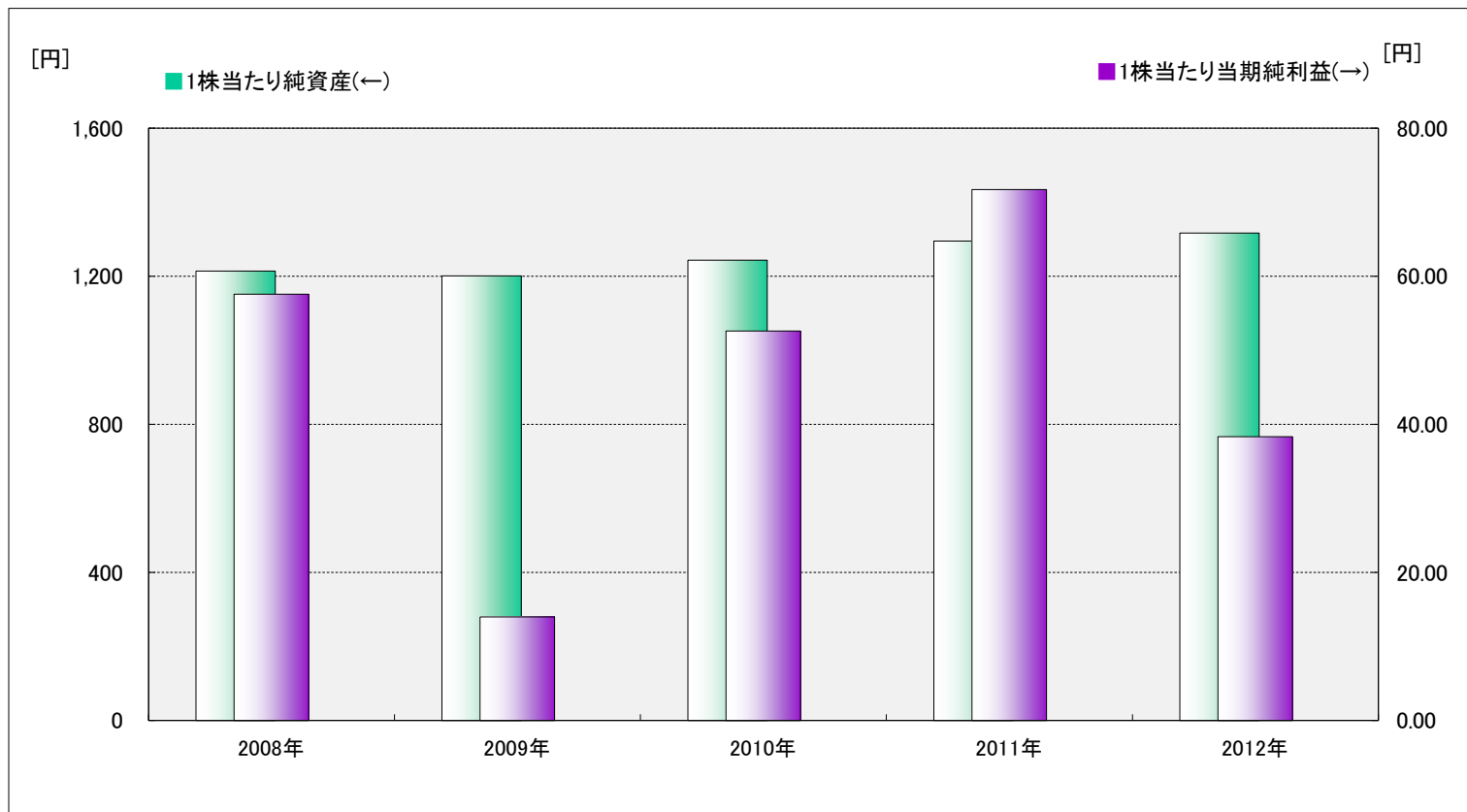


総資産額・純資産額(連結)

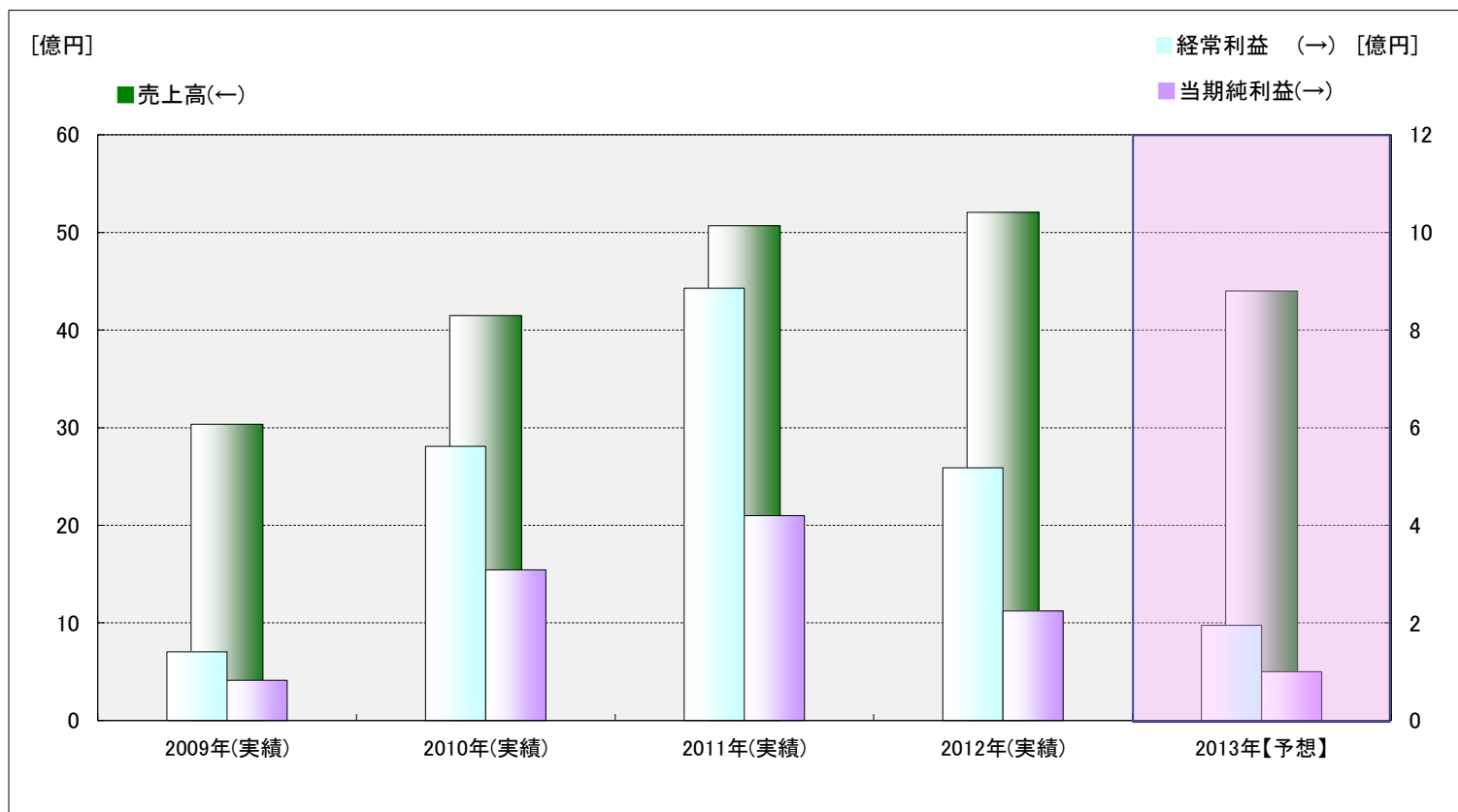


1株当たり純資産額

・ 1株当たり当期純利益(連結)



業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング